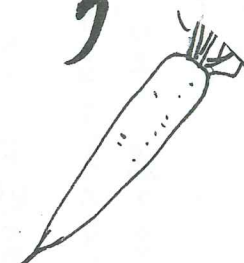


原莞いらん!

山ロネットワーク



2025年11月9日の報告

カ447号

次の集まり

2025年12月14日(日) 13:30

周南市役所シビック交流室6

12月の通信は休みますので1月9日例会の

お知らせです。

2026年1月11日(日) 13:30

周南市役所シビック交流室6

柳井市議選(定数16)12月投票開票

「中間貯蔵に反対」9人当選!

98% 反対が当選した

|       |       |     |    |    |
|-------|-------|-----|----|----|
| 1,740 | 山本    | 達也  | 70 | 無現 |
| 917   | 山本    | 澤馬  | 33 | 無新 |
| 910   | 藤沢    | 宏司  | 62 | 無現 |
| 775   | 三島    | 好雄  | 69 | 公現 |
| 751   | 佐々木   | 久美  | 44 | 無新 |
| 740   | 中本    | 英宏  | 40 | 無新 |
| 715   | 長友    | 光子  | 72 | 共現 |
| 714   | 岡     | 龍一  | 61 | 無新 |
| 701   | ジョンソン | 彩奈  | 41 | 無新 |
| 593   | 平岡    | 実千男 | 53 | 無現 |
| 569   | 友座    | 泰   | 55 | 無新 |
| 556   | 平井    | 保彦  | 67 | 無現 |
| 496   | 中川    | 隆志  | 74 | 無現 |
| 488   | 田中    | 晴美  | 75 | 無現 |
| 487   | 斉郷    | 孝   | 58 | 無新 |
| 482   | 坂ノ井   | 徳   | 72 | 無現 |
| 479   | 山谷    | 拓也  | 42 | 無新 |
| 476   | 梅田    | 涼平  | 30 | 無新 |
| 375   | 松村    | 祐樹  | 40 | 無新 |
| 370   | 川崎    | 孝昭  | 71 | 無現 |
| 224   | 小柳    | 幸博  | 60 | 無新 |
| 218   | 田中    | 健之  | 57 | 無新 |
| 159   | 河村    | 秀昭  | 58 | 無新 |
| 122   | 東條    | 敏幸  | 67 | 無新 |

当票率 57.27%

中間貯蔵反対でがんばって下へに

みなさん、当選おめでとうござい

ます!

変えられる。を実感。

変わる。を実感。

中間貯蔵なんか絶対いらん!

代表者 山中 進  
〒742-1513 山口県 熊毛郡  
田布施町 麻郷 2208  
Tel.FAX 0820-55-6291  
振込口座(年会員2000円)  
(郵)01590-5-27469  
口座名「原莞いらん!山ロネットワ」  
作製・印刷・発送  
周防灘の自然を守る会  
三浦 翠とメンバーズ

柳井市議会では  
中間貯蔵反対が  
多数派に!

9対7

大久保雅子さん県知事選に立候補!  
中間貯蔵(反対)で。

2026年2月8日投票告示

大久保氏が立候補表明

山口県知事選  
2026  
市民団体擁立 上関中間貯蔵に反対



大久保雅子氏

任期満了に伴う来年1月22日告示、2月8日投票開票の山口県知事選で、市民団体「市民連合」や「まぐち」は12日、新人でコンプレックス店員の大久保雅子氏(31)が立候補を表明している。

子氏(31)を無所属で擁立すると発表した。大久保氏は、立憲民主、れいわ新選組、共産、社民の野党4党に推薦を求める。大久保氏は山口市内で記者会見し、「国の方ばかりを見ている県政から県民の声を聞く県政に変える」と強調。中国電力が上関町で検討している使用済み核燃料の中間貯蔵施設や原子力発電所の建設、米軍岩国基地(岩国市)の機能強化へ反対する考えを示した。

大久保氏は山口市出身。山口芸術短大を卒業し、1985年に衣料品販売店に就職。結婚を機に退職後、山口大教職員組合の書記など非正規労働者として働いてきた。市民連合の事務局員なども務める。「非正規をなくし、就職できていない人が仕事を持てる支援をしたい」と力を込めた。知事選にはこれまで、4選を目指す現職の村岡嗣政氏(52)と、新人で県議の有近真知子氏(46)が立候補を表明している。(堅次亮平)

各地から集まろう!

2026.3.28 山口大生来会に向けて

オ一回キックオフ実行委員会のお知らせ。

2025.12.13(土) 13:30

山口市教育会館5F.お茶研修室

連らく先を藤さん080-6331-0960

田の浦ヒロニック  
&  
ビーチクリーン

2026年1月28日(水) 11:00~  
雨天の場合 1月30日(金)

連らく先 原真紀さん 090-5309-1032  
弁当、水筒、ぼうし、手袋を  
忘れないで!





● 例会の報告 (11/9)

● 参加地域 田布施、下松、周南、宇部

① 小中さんより

柳井市ではこれまでにないような事が起っています。中間貯蔵に反対の現取が4人。それに反対で立候補している新人が9人。推進は現取5人。反対の世論が強い中で推進で出る新人が6人。

中間貯蔵を考えよう周南市民の会に作ってもらった 街宣印のテロポがすごいので、これを車で流そうと思っています。

「こういうことだから選挙に行かにはやめいけん」という気持ちにしてくれるようになすべくインテロポです。

これまでの選挙とちがって素人ばかりでやっている選挙でなんかもっとも新鮮です。この選挙には山口県民のいのちがかかっている。

② 現地のようです。

以上別は中電も草を刈っていたのに今は中電が全く草を刈らなくなったので田の浦に下りる道の海に近いところはやぶでぐちゃぐちゃです。

先日私が草刈りに行って2時間程刈りました。その時の写真がホームページ(小中進プロブ)にのせたら、きれいな景色に感動したというコメントがありました。

③ 知事選について

● 11月2日に大久保雅子さんが市民連合のやまぐらひの推選で、中間貯蔵反対で立候補。

● 現取の村岡知事は四選をめざす。

● 柳井市の県議、有近真知子氏は中間貯蔵について「アーユメント」だったのが萩市での集会で反対と表明した。しかし、彼女は日本会議の会員であり、反対表明を信じられない。

伯父の元知事山本繁太郎氏は、埋立免許は延長しないという約束したのに、知事になつてから翻した。

④ 11月15日、上岡町の総合文化センターで越智秀二さんの話が聴きあまりました。

● 中電が中間貯蔵施設を建設しようとしている瀬戸内海西部は今、M7級の地震が起るもおおくないところ。

GPSで土地の動きをとらえた図を見ると、日本海側の瀬戸内海西部に向って、また四国側からも瀬戸内海に向って土地が動いている。この地域にはひびきかたまりが続いている。

また大島には大きな津波がおしよせたといい伝承もよく残されている。

こんなところに核施設を造ってはならない。

⑤ 10/29 2市4町議員連盟と祖島とネット

ワークで上岡町に申し入れをした。

これまで申し入れは町長室に招き入れていたのに、今回は町長室の前で立つたまま、職員に紙を渡すだけ。

ひととおり意見は聞くと、質疑応答も無い。全く失礼な態度であった。

新聞記事↓P⑩

● シワ同じ主旨での県庁への申し入れ。

東部の議員連盟の議員が9名と、ネットワークから一人の10名で行く。

県は、場はもうけたが、話を聞くのみで、一切の応答をせず、文書回答もしないと言った。

その後10名で、記者クラブで記者会見を行った。↓新聞記事↓P⑩

上岡町と県が申し合わせたように、反対の意見を一切聞こうとしない裏には何かあるのか。

光市議会傍聴記

12/4、光市議会、田中陽三市議が質問。

「光市は中間貯蔵予定地に周辺のどの市町よりも近い。市民のほとんどの方が反対で非常に不安に思っているが市長のお考えは？」  
芳岡統市長の答弁「この件は事業者である中電と国の責任において決められるもので、光市として何かをするということは考えていない」

一河赤次江さんより



⑥ 10/28 祝島島民の会と4国体の県への申し入れ。

「原発予定地の埋立免許の取消しを求める」。

県が10名の参加しか認めないので、祝島からは17名の署名を提出、この申し入れは島民の総意であることを示した。

・祝島島民の会代表より

「祝島の誰一人として漁業補償金を受取っていない。公有水面埋立法には、埋立によって損害を受ける者に対して補償し同意を得なければならぬとあるのに、なぜ県は中電に埋立免許を許可し、延長を認め続けるのか。」

県 中電は県漁協に祝島への補償金を渡ししているからそれでよい。

祝 「公共用地の取得に伴う損失補償基準要項」には漁業者10人10人に補償し、同意を得なければいけないとある。

県 県漁協に補償金が支払われているからそれでよい。——とくり返す。

祝 「要項」のことをどう考えているのか。

県 あれは土地の補償に因するものだ。

——と無知をさらす。

——いかげんなことを言うんじゃないよ、とヤジ。

祝 漁業者の補償についても書かれていることを知らないのですか？。

県 県漁協に補償金が支払われているからそれでいい。——とくり返すのみ。

祝 田の浦の埋立免許は、137万Kwの海と水型改良型の原発を建てるということを出されている。

しかし現在ではエネルギー基本法でも、そのような大型原発を建てる予定はない。

ない。

つまりこの埋立免許の目的そのものが消えているので、埋立免許は取り消すべきだ。

県 埋立の理由は変更可能である。

——えーっ、それはないでしょう！

県の態度に腹が立たない。

県は中電と口を言うことを祝島に押しつけてやうとするばかりで、そのためには法律にさえ脊を向ける。全く許せばいい。

あの大切な海をなぜそんなに埋立てたがるのか。

漁業者の権利を無視することは決して許さない。

⑦ 祝島島民の会の裁判について。

10月30日の裁判については村田久美子さんが書きました。↓P4

次回裁判は2026年1月29日、結審。

3月5日、11:15 判決となります。

## 会計報告

2025年11月の会計報告-原発いらん!山口ネット7-7

|               |         |
|---------------|---------|
| 2025.9月の報告の残高 | 103,835 |
| 収入、会費とカン110   | 23000   |
| 支出            |         |
| 9月の報告作製、送料    | 26826   |
| 10月の "        | 36474   |
| 10月の例会会場費     | 700     |
| 11月の "        | 1140    |
| 送料            | 540     |
|               | 65,674  |
| 差引残高          | 61,161  |

- 年会費とカン110の振込みとありがとうございました。
- 年会費は2000円です。可能な方はカン110もよろしく。
- 振込先(印)01590-5-27469  
口座名 原発いらん!山口ネット7-7



祝島の裁判・報告集会 ◆10月30日

中電社長の尋問は不採用

祝島島民の会に「調査海域に入るな」と中国電力が訴えた裁判の第16回口頭弁論が10月30日、山口地裁岩国支部で開かれました。被告側が求めている中川賢剛・中電社長の本人尋問については、裁判所はこれを却下しました。

調査の必要性は客観的な証拠で判断

中電側は、被告側準備書面15に反論する準備書面11を提出しましたが新しい主張はなく、小川曉裁判長は、「本日をもって主張・立証は尽くされた」とし、中川・中電社長の本人尋問の採用については却下しました。

理由として「原発という重大な施設にかかわる海上ボーリング調査の方法や事実、必要性などに関心をもってきた。調査については、社長ひとりの供述によるものでなく書証にもとづき判断するのがふさわしい」と述べました。

報告集会で中村寛弁護士は、「裁判所はふつう、尋問を却下する理由を述べないが、客観的な証拠で認定していくという考えをニュートラルに示した」と解説しました。

中電の弾劾証拠の提出は認めず

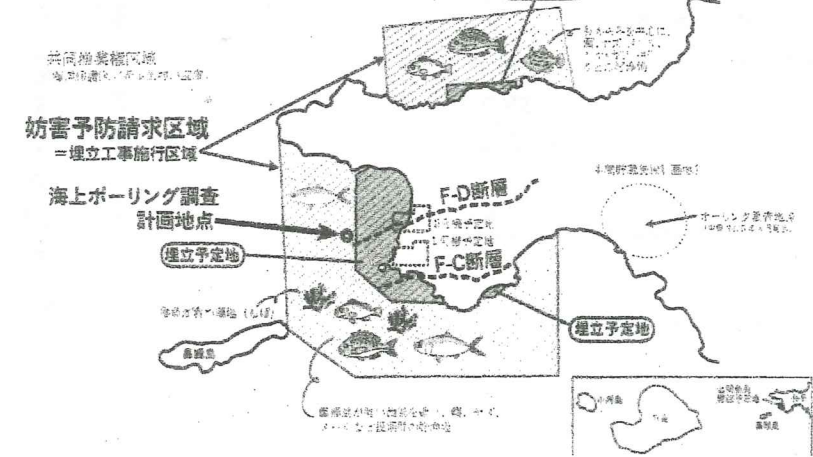
今後の進行については12月18日を取り消し、1月29日10時半に結審と決まりました。

そのあとに中電側が新しい弾劾証拠を提出したいと申し出ましたが、裁判官3人の合議によって、提出は認めない、とされました。

島民側弁護団は報告集会で「証人尋問のあと弾劾証拠が出るのはよくあること。岡本証人か木村証人の漁業実態について証言の信用性が乏しいとする証拠があるなら本日までに提出せよよかったのに、中電側はそれをしなかった。重大にとらえる必要はない」という見方を示しました。

\* \* \* \* \*  
傍聴希望者68人のうち約20人が入廷。  
文責・「まる新聞」村田久美子

が中電の「妨害予防請求区域」



報告集会のこと・祝島のみなさんより

○祝島島民の会代表の  
木村カズンより。

10/28に、予定地の埋立免許の取消しを求めの申し入れを県に行いました。祝島の漁民は誰も漁業補償金を取り取つてはいない。  
ハム有水面埋立法では埋立による損害を全うするものには補償しなければいけないとあるのに、なぜ県は中電に埋立免許を出し、それを延長し続けるのかと言ったところ、  
県は漁業権は県漁協にあると。私たちは漁業権は漁師伯人伯人にあると考えています。  
周辺の市町の皆さんがいろいろ動いて下さることもに強いです。

○岡本正昭さんより  
先非事たちのたのけを思えて、受けついでいかないと、思っています。(釣る人まーくんです)

○岡本直也さん(金ちゃん)より

18日、祝島に移住して16年になります。子供が4人、保育園と小学校に通っています。祝島で暮らして思うことは、県に行っても町にいても、教員がしつこくする。上周町長は多数が押し切るが、民主体裁だとはいえない。それが町民が何十年間も苦しめられてきた。町も県も対話してほしい。対話がつくまでこのことが決まる町や県になさしてほしい。  
原発も、中周貯蔵も上周町の200人ばかりで決まってしまう。はなりの思うし。  
いつもの裁判にこんなにくさん来て下さる方がありがたいです。すぐくはげます。

○秋山鈴明さんより

7、8年前祝島に移住しました。漁業と町会議員をやっています。もうすぐ4年任期が終了します。この数年間、町の財政をターゲットにしてとり組んでいます。これまでに上周町は原発関連で110億くらいもらっているのに、人口減、ササナは中口地方一番です。町長の理屈は矛盾点いっぱい。それを議会が言っても町長と推進の議員が結託して、質問にもよく答えない。苦しい4年間でした。  
みなさんが当事者意識をもつて下さるのがほしいです。  
祝島は義理人情も無いところなところ。島の魅力にいついかに魅了されたいです。



■ 小出裕章さんの話を聞て。(大森三浦)

「核のおそろしさ」について。

○核のおそろしさーその1

核分裂反応によて出るエネルギーのすごい。

灯油 1kg を燃やすと 10,000 Kcal の熱が出る。

ウラン 1kg が核分裂すると 2兆 Kcal の熱が出る。

$$2兆 = 20,000,000,000$$

東京大空襲では 1800トンの焼夷弾が落とされ 10万人が焼死したが、広島に落とされた原子爆弾は、たった一発で、その10万倍の熱量。

人類は、自らを破壊する手段を手に入れたこと、はつかりと示されたのだ。ーバウ・オバマ

○核の恐ろしさーその2

1999年9月30日、東海村JCOの臨界事故で大内さんと篠原さんが亡くなった。強い放射線を浴びたのだ。

人間を含めたすべての生物、そしてすべての物質は DNA を含むので原子どうしが結合して分子になることで成り立っている。

その分子の結合するエネルギーは数 eV (エレクトロンボルト)。つまり、

X線のエネルギー 100,000 eV 数万倍

セシウム 137 のガンマ線 661,000 eV 数10万倍

トリチウム のベータ線 18,600 eV 数千から数万倍

この講演は Youtube 上に配信されています。アドレスは P⑤に

数 eV の弱い電流が流れている人体内の(原子)結合は放射線の強い eV (電流)でスタスタに壊れる。

○核燃料サイクル

1945年にはじめて核分裂のエネルギーの大きさを知った

原子力推進派はこれを利用してしようと考えた。

小出さん自身、石炭、石油はいずれ無くなるのだ

から原子力こそ未来のエネルギーだと思て、原子力は原子力工学科に入った。

しかし、ウラン資源は、石炭、石油にくらべても少量しかない資源だと分る。

そこで原子力推進派が考えたのは、使用済核燃料からプルトニウムをとり出し、それを高速増殖炉で燃やせば、新たにプルトニウムができ、無限にエネルギーを生み出せるという仮説。

しかし、高速増殖炉は、破綻。

核燃料サイクルは幻となった。

資源としてウラン燃料に未来はないからやめるべきなのにやめない。

○たまり続ける使用済核燃料

もうプルトニウムはい、特に周知電力は多くの原発を再稼働しているの、あと2000年までプルトニウムは満杯に。

○上岡町は借金欲しくて手もあげた。

今は100トンの貯蔵心と言っている、土地得、町の水を言え、500トンでも土地がある限り持ちこたれるだろう。

ギョースの中身は人が近づけば死んでしまう程の高線量。

持ち出しはしない、だからギョースの寿命の50年前には放射能もれのはじまり、もはや誰も近づけない。

その危険は人間にとっては、永遠ともいえる100年以上。

○日本は核技術では後進国。

敗戦によてカシだけあった核研究機関はすべて破壊された。

東海村の再処理工場はフランスに作るもらった。

世界は現在再処理から撤退。環境汚染がひどいせいもある。

イギリスは完全に断念、フランスも近いうちにそうなる。ドイツは市民の反対でやめた。アメリカは再処理をしない、直接処分。

そんな中、日本だけ再処理できるわけはない。それなのに政府は再処理工場に運び出さうと、ウソに決まっている。





## ナトリウム電池の開発

小倉 正 (EV ユーザー)

大規模系統蓄電池を導入すれば再生可能エネルギーを主力電源化できることは、南オーストラリア州でのテスラ社のメガパックの例が示しています。

メガパックで用いられているリチウム電池については、採掘時に環境/人権問題を引き起こしているコバルトやニッケル、マンガンを含む材料に使わないリン酸鉄リチウム電池 (LFP) が最近ではEV用蓄電池の主流になりつつあります。

さらに資源が少数の国に偏在しているリチウムに比べ資源が豊富で安価が期待されるナトリウム電池 (ナトリウムイオン電池) が新たに商用化段階に入ってきました。このナトリウム電池の開発状況について紹介します。

### 電池メーカーの動向

世界最大のEV用電池メーカー (シェア40%) である中国CATL社が今年4月に発表したのが、新たなナトリウム電池を12月までに量産化するというものでした。

公表されたその性能と低価格 (大量生産後の予測) が驚異的で、EV用LFPの市場を総取りするかもしれないと業界に激震が走り、さまざまなYoutube解説動画が作られています。

なお、CATLの発表に

対する反応が日本メーカーから聞こえてこないことは問題ではあります。

韓国メディアでは、韓国の電池メーカーLG社にとっては主力商品である最も高価な三元系リチウム電池 (\$100/kg) のシェアが中国製のLFP (\$60/kg) に奪われている現状で、さらにナトリウム電池主導のEV価格低下が\$10/kgをめざして起きると市場シェアの喪失、倒産が起これば、リスクを深刻に捉えています。

一方、学習曲線に基づく分析では、LFPの今後のコスト低減を追い抜くには30年代半ばまでかかるという評価もあります。

### ナトリウム電池の技術的な長所は、

技術的な詳細は公表されておらずまだ第三者機関による検証はされていませんが、公表されている内容は、  
・エネルギー密度 (体積あたりの蓄電量) がLFPに近いレベルに向上。  
・寿命が長い…繰り返し充放電回数1万回はLFPの数倍。

・氷点下の気温でも充電速度がLFPに比べて早く、放電性能低下も相対的に抑えられている。  
・衝突時安全性も高く、可燃性で熱暴走をしない。  
・高温でも安定して稼働する。

### 系統/定置型蓄電池用途における利点は、

・リチウム電池の資源制約に伴う価格高騰リスクと経済安全保障リスクから解放される。  
・EV用蓄電池とは異なり、容積増も重量増も課題ではないためそもそも系統用に適している。さらに充電速度が速く寿命が長く熱暴走しない性質は大規模施設用に最適です。

### 系統蓄電池の普及状況は、

2年前から、中国ではナトリウムを用いた系統蓄電所が作られています。

米国では、ベンチャー企業のPeak Energyが米国初のナトリウム系統蓄電所を運転開始、リン酸鉄ナトリウムという、おそらく違う型のものを開発しました。

テスラ社はEV用アルミニウム電池とナトリウム電池を来年発表する予定とのこと。仮に開発に成功すればメガパック用途へナトリウム電池を使用するはず。

中国が再エネとEV生産設備を急成長させ、グローバルサウス向けの輸出基地になりつつある今、世界中で太陽光+ (EVを含めた) 蓄電池が最安の分散型エネルギーとして家庭や地域に普及し、大規模な発電設備を独占してきた電力会社の支配を打ち破る未来がそろそろ現れつつあります。

|                            |                                                |                     |                         |
|----------------------------|------------------------------------------------|---------------------|-------------------------|
| 12月3日(水)<br>15:00~         | 「上原原発用地埋立禁止住民訴訟」最高裁「上告審として受理しない」決定に対する意見表明記者会見 | 県庁記者クラブ             | 0836-21-8003<br>小田      |
| 12月7日(日)                   | 柳井市議選投票開票                                      |                     |                         |
| 12月7日(日)<br>13:30~         | 原発いらん! 山口ネットワーク例会                              | 周南市役所3階<br>交流室6     | 0820-55-6291<br>小中      |
| 12月10日(水)<br>11:30~        | 朝鮮学校への補助金を復活せよ 県庁前座り込み                         | 県庁前広場               | 0836-21-8003<br>緑橋教会    |
| 12月13日(土)<br>13:30~        | 3・28 山口大集会 キックオフ 第1回 実行委員会                     | 山口市教育会館5F<br>第2号研修室 | 安藤                      |
| 12月21日(日)                  | 原発さばり 尾道歌声ハロード                                 | 尾道市駅前ひろば            |                         |
| 2026<br>1月29日(木)<br>10:30~ | 祝島島民の会の裁判(結審)                                  | 岩国市 岩口支部            | 0834-31-4132<br>周南法律事務所 |
| 2月26日(木)<br>11:15~         | 伊方原発差止め裁判・判決                                   | 岩口支部                | "                       |
| 3月5日(木)<br>11:15~          | 祝島の裁判 判決                                       | 岩口支部                | "                       |
| 3月28日                      | 中間貯蔵施設はいらない! 山口大集会                             | 山口市雄新公園<br>ビッグシェール  |                         |

イベント情報

裁判のこと

### 中間貯蔵施設を止めよう周南の会より

2025.10.26の小出さんの講演を  
2-92-7にアップしました。

【7ル】小出裕章さん講演会in周南 2025.10.26.  
[https://youtu.be/5IDNjT8TynM?si=U6PY6xPR8L\\_LFzCx](https://youtu.be/5IDNjT8TynM?si=U6PY6xPR8L_LFzCx)  
小分け動画①~⑦も公開中。  
ショートで見たい方はチャンネルから探して下さいね。

ぜひ見て下さい。

⑥

●祝島島民の会の裁判  
20回、岩国支部  
2026年1月29日(木)  
10:30  
結審  
●伊方原発差止め裁判(31回、岩口)  
2026年3月5日(木) 11:15 判決  
※12月25日の予定は取消しになりました。  
2026年2月26日(木) 11:15 判決



# 国是 非核三原則

11/6中

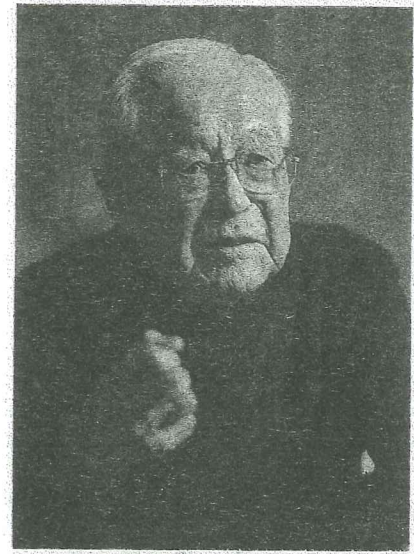
高市早苗首相が見直しを検討していることが分かった非核三原則。核兵器を「持たず、つくらず、持ち込まず」とした政策は、被爆国日本が国是として堅持してきた。なし崩しにされかねない現状をどう受け止め、向き合うべきか。事態を注視する人たちに聞く。

非核三原則は国会で決議された国是であり、非常に重いもの。高市首相の考えは軽々しく、慎重さが足りない。核兵器を持ち込ませないことが米国の核抑止力の実効性を低下させかねないと思っている。高市首相は、核兵器で国

民の命や安全を守れると他国に狙われるだろう。の考え方は時代錯誤だ。本当に国民のことを考えているとは思えない。もし核兵器が国内に持ち込まれたらどうなるか。陸上に配備されれば、攻撃されれば、80年前の広島、長崎以上のもっとひどい状況が地球上に現れて人類は滅びかねない。核兵器が存在する限り、理性を失った指導者がボタンを押したり、事故で誤って使われたりする可能性がある。全ての危険を取り除くには廃絶するしかない。

元広島市長 平岡敬さん(97)

## 核持ち込み時代錯誤



「高市首相は想像力が欠けている」と話す平岡さん (撮影・井上貴博)

ひらおか・たかし 大阪生まれ。中国新聞社編集局長、中国放送社長などを経て1991年から広島市長を2期8年務めた。95年に国際司法裁判所（ICJ）で陳述し、原爆被害の非人道性から核兵器使用を国際法違反と訴えた。

被爆国日本は、核兵器のない世界の実現に向け先導する役割を果たさな

### 本の紹介

#### 『原発避難計画の虚構』

公文書が暴く冷酷な国家の真意  
日野行介著 朝日新聞出版 2420円  
※情報公開を重ね、口の避難計画のインチキを暴く。

〇山口市在住のシミ・ヒロマサさんによる『上南町 使用済み核燃料中間貯蔵施設建設計画』全体についての専門的ごめなから、国政がいついかにわややいハコソク。

2025年10月発行  
1部100円、49ページ

編者の情報:

QRコード



は緊張感を高めるようなことばかりしている。台湾有事は存立危機事態になり得るとした先日の国会答弁もそうだ。

この30年間の経済状況などで国民に不満が広がり、鬱屈した気持ちに排外主義に向かっている。そうした空気が非核三原則の見直しを検討させる状況を生んでいる面もあるのではないか。政治家に利用されてはいけな

### 鬱屈 排外主義に

一方で、米軍の軍艦や潜水艦は核兵器を積んだまま日本に來ているかもしれない。三原則の「持ち込まず」が有名無実化していないかという懸念はある。

もつと想像力を働かせるべきだ。核兵器を持ち込ませて本当に今より平和になるのか。戦争を防げるのか。軍事力だけに頼っていても平和は訪れない。

(山本祐司)

随時掲載します

World Bank & ADB  
これまでの  
原発融資への  
禁止方針を  
変えないで

オンライン署名にご協力ください！  
▼署名は <http://chns.it/kWnJpNgm6K>  
または、下記の QR コードから



(1-2-22 アジアフォーラム 2025.10月号より)

どこの口にも造られても庶民を苦しめる「原発」に税金を使わせたいのに口際者名に協力しよう。

これまで両機関とも原発への支援はして来ましたが、いよいよその方針を変えようとしている。

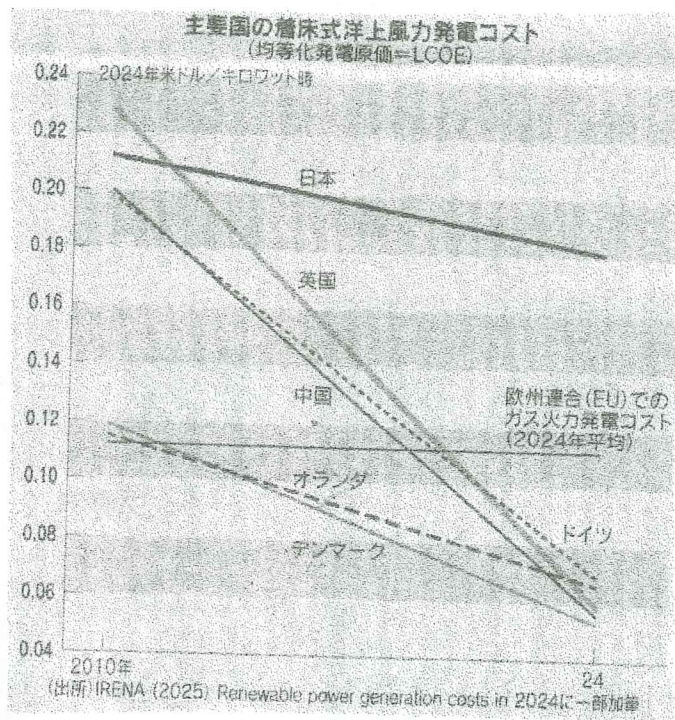
原発建設の資金が欲しい、AEAが手を出したのだ。

しかしその方針はまだ決まっています。



関連する新聞記事

- ・(10/23日)自然破壊する原発規制、メガソーラー、自衛連立合意。
- ・(10/24日)柏崎刈羽追加の県民調査、再稼働の判断材料30キロ圏内対象。
- ・(10/25中)低線量被曝の研究報告、六島で放射線影響学会開幕。
- ・(10/25中)川内原発に乾式貯蔵施設。
- ・(10/25日)泊原発早期稼働村議会が承認へ、北海道知事は保留。
- ・(10/27日)再エネ逆風住民と摩擦、景観・事故生活圏に接近。
- ・(10/27日)洋水風力、独が支援検討、コスト増の損失補填へ。へ礼低調で政府関係。
- ・(10/28日)メガソーラー税で歯止の、青森県や宮城県、環境保全へ導入。地元合意なら非課税も。
- ・(10/27日)岐路に立つCOP(上)温暖化対策、米国の翻弄。
- ・(10/28日)蓄電池工場出水に新設、東京の企業。
- ・(10/28中)島根2号機訴訟8年ぶりの弁論、原告側が意見陳述。
- ・(10/28日)メガソーラー巡り石原環境相「共生なければ認めず」環境配慮要求の。
- ・(10/28中)六ヶ所再処理工場での代作業員から放射線被曝検査。



- ・(10/29日)文献調査の再都現町長ワ選。
- ・(10/29日)柏崎刈羽6号機再稼働準備整う。
- ・(10/30日)送風下の再エネ発電、多い頻発、合意形成に課題。
- ・(10/30日)メガソーラー規制へ法改正、希少種生息地の開発厳しく。
- ・(10/30中)島根3号機が県、安全会議。
- ・(10/30日)全米で原発新設は非現実、米スティーヴン・ハリス政府と連携。
- ・(10/31日)被曝線量計検査証明を偽造、千代田テクノル土屋製作業に使用の。

- ・(10/31日)風力発電巡り国に法改正要請へ、鳥取県平和知事。
- ・(11/2日)COP30開幕へ、遠い「1.5度目標」へ公議の賛同性肉うことも。
- ・(11/2中)原発事故設備を松江市訓練。
- ・(11/3中)核の脅威減らす、科学者の役割は、パグワシ会議公開討論に20人。
- ・トランプ氏の「核実験指示」不要で支離滅裂な方針、米政権元核政策担当フランク・フラン、ヒャペル氏に聞く。
- ・(11/3日)アマン火災9月急増、前期違法伐採、乾期に農地化。
- ・(11/3中)核被害者、補償、責任追及と両立を、世界フォーラムで「権利宣言」採択、よめ後の円上まりさんに聞く。
- ・(11/3中)柏崎(原発)津波確率検証へ、東電有識者チーム設置。
- ・(11/3日)アマン伐採、地表露出密林見ると影なし、日本衛星撮影に一致。
- ・(11/4日)ロシア、小型原発を輸出。
- ・(11/5日)柏崎刈羽再稼働を問う、「県民意志は住民投票で」と新潟知事米山隆一氏。
- ・(11/5日)給湯器で電力需給調整、東電系、家庭用遠隔で制御。
- ・(11/5中)メガソーラー規制強化、経産省検討、パネル監視厳しく、土砂流出など防止も。
- ・(11/5中)泊原発再稼働に同意、泊町に近い共和町議会、安全協定を結ぶ周辺4町村のうち2例目。
- ・(11/5日)双葉町立ち入り規制一部緩和。
- ・(11/5日)高浜2号機、50年超の運転認可。
- ・(11/6日)温暖化ガス排出世界で最も更新。
- ・(11/6中)屋内退避中も通院や除雪可、原発事故規制を。
- ・(11/6中)美浜原発新設へ調査開始。
- ・(11/6日)地元電力に契約一本化、島根雲南市、脱出系へスラッグ、公共施設で再エネ推進。
- ・(11/6日)屋内退避、原発5キロ圏内でも規制要即時避難困難な場合。
- ・(11/7中)原発周辺自治体立地並み財源も、鳥取県2市、中電に要請。
- ・(11/7日)太陽光パネル、再利用義務化急げ、グリーンピース、ジャパン。
- ・(11/7日)海面上昇ツバル、移住始まる、豪、年280人受け入れ。
- ・(11/7中)北極の海氷面積最小、WMO南極圏は史上3番目。
- ・(11/7中)再稼働の条件「整わず」多数、柏崎(原発)周辺、県民意識調査。
- ・(11/7日)長崎に洋上風力機、三芳長崎機工、1月着工。
- ・(11/8中)日本産の水産物、中国へ輸出再開。
- ・(11/11中)益田核ごみ文献調査断念、佐賀県玄海町長「甚だ遺憾」。



(新聞記事のつづき)

- ・(11/12中) 非核三原則堅持を首相が表明。参院予算案。
- ・(11/12中) 柏崎再稼働月内にも判断。新潟知事。
- ・(11/12中) 原発建設費に公的機関融資、政府方針、脱炭素系後押し。
- ・(11/9日) COP30分断が影、ホ不在の首脳級会合、高市氏も出席。
- ・(11/11日) AI「純・中国産」世界に衝撃、テックブーム。
- ・(11/11日) 中国再エネ、温暖化から世界救うか。今や中国は再エネで世界が使う総電力の1/3を生み出しつつある。
- ・(11/13中) ホ、カリフォルニアのニューカム知事「トランプ氏は正真正正なCOOP30記者会見で批判」。
- ・(11/15日) 柏崎刈羽再稼働が新潟知事「立地自治体の考え重要、柏崎市、国の理解要請、来週」同日。
- ・(11/15中) ウラシ鉱山の暮らして追う。ホ、ババ、舞台、ドコモ、タリ、映画、広島を23日、日本初公開。
- ・(11/15中) 核爆国の「国是」岐路、非核三原則見直し検討。
- ・(11/15日) 柏崎刈羽新潟知事が視察、7年ぶり安全対策評価。
- ・(11/15日) 原発、原発新設へ「着実に調査」。
- ・(11/16中) 社説「国是」がなぐり捨てるのか。非核三原則見直し検討。
- ・(11/18日) 原発部増産、10億月追加投資。
- ・(11/16中) 原発国際融資解禁、核リスクの増大を懸念、(オビニオン)
- ・(11/17中) アマゾン保護を先住民ラデニ、COP30開催中のブラジルで数人。
- ・(11/17日) 異常気象の被害、30年間で45兆ドル、ドイワのNGO報告。
- ・(11/17日) 五ヶ所導入、途上国で6割。対政輸出に意欲、「先進国が援助の国変化。COP30」。
- ・(11/18日) 処理水16回目の放出完了。
- ・(11/18中) 東電年内に五ヶ所計画、データセンター事業参入。
- ・(11/18中) 為原発の再稼働「ソ」など書かれたフラカード村町が同意を表明。
- ・(11/18日) テラセニター、電力消費急増、A-は救世主か元凶か。
- ・(11/18日) 山口「石炭火力発電を廃止」。
- ・(11/19日) 新潟知事が福島原発視察。
- ・(11/20日) 洋上風力再公営の審査、価格重視から



「石油やガスから解放されたアマゾン」など書かれたフラカードを掲げる先住民ら11日、ブラジル・ベレン

地域の新聞記事

- ・(10/23日) 自民県連に推進願提出、知事選で村岡知事。
- ・(10/27中) 村岡氏が立候補表明、4選目めです。
- ・(10/27中) 上岡と周南で講演会。核燃料中間貯蔵施設「日本にとって重要だ」と上岡氏。「危険を永遠に負う」小出氏。
- ・(10/29中) 高級公務車更新慎重な姿勢、山口知事。
- ・(10/29中) 中間貯蔵巡る調査結果、質問に答えるデフシ配布。中国電力Q&Aで説明。
- ・(10/29中) 基地隣接地でのPFAS検出、山田市「調査の考えはない」。
- ・(10/29中) 上岡町議選2月22日投票。
- ・(10/30中) 中間貯蔵建設「反対」と上岡町に3団体「検証不可欠」主張。
- ・(10/30中) 知事選の対立軸「利断」に周南市長。
- ・(10/31中) ガス2社値下げ、中電は連統上昇12月料金。
- ・(10/31中) 上岡原発新設が今年度中に利決。
- ・(11/1中) 中電社長会見、島根2号機再稼働来月21年、「運転客足利益に貢献」。
- ・中電純益25%増、44億月、9月中旬。

基準修正、経産省案

- ・(11/22中) 柏崎刈羽原発「再稼働を容認、新潟県知事1月にも運転可能」。
- ・(11/22中) 福島事故の事故忘れたのか、被災者憤りや落胆。
- ・東電「廃炉費用の確保に2歩」。
- ・(11/21中) 柏崎刈羽テロ対策不備、東電社員が秘密文書持ち出し。
- ・(11/21中) 洋上風力、国が支援策強化、導入へ国民負担拡大も。
- ・(11/21日) COP30に米地方幹部、我々が片理ある52都市参加。
- ・(11/21日) 豪、電気代、昼の3時間無料、太陽光発電の供給過多。
- ・(11/21日) COP30気候災害対策資金、途上国「3倍」主張。先導口は難色示す。
- ・(11/21中) 非核三原則見直し議論、政策的な合理性乏しい。
- ・(11/21中) 「核の傘」国会前、NO・核国協16年ぶり集会。
- ・(11/22日) 東電、渡りの経路、再稼働でも経営厳しく。

豪州は太陽光発電が増えている

豪州の発電量

| 年度     | 化石燃料 | 再エネ |
|--------|------|-----|
| 2019年度 | 20   | 10  |
| 20     | 20   | 10  |
| 21     | 20   | 10  |
| 22     | 20   | 10  |
| 23     | 20   | 10  |

再エネ発電の内訳

| 年度     | 風力 | 水力 | 大規模太陽光 | 小規模太陽光 |
|--------|----|----|--------|--------|
| 2019年度 | 2  | 2  | 2      | 2      |
| 20     | 2  | 2  | 2      | 2      |
| 21     | 2  | 2  | 2      | 2      |
| 22     | 2  | 2  | 2      | 2      |
| 23     | 2  | 2  | 2      | 2      |

(注) 各年度は7月から翌年6月まで。出所は豪州政府



# (地域の新聞記事のつづき)

- ・(11/1中)上関で検討の中間貯蔵施設、中電、複数の規模検討。事業計画策定時期は「近々」という状況ではない。
- ・(11/1中)19首長村国氏支援へ。市長会、町村会が推せん決定。
- ・(11/8中)中電柳井発電所で大失火。
- ・(11/8中)周防市長が対応協議。柳井中に中電説明へ。
- ・(11/8中)山口県に反対求める。議連など3団体申し入れ。↓
- ・(11/8中)県知事選「分裂」前哨戦はやむを得ない。ありさう回り活発化
- ・(11/12中)「中核実験再開」に抗議文。山口核爆二四の会、日本共産党など。
- ・(11/13中、ア、カ)県知事選、大久保氏が立候補表明。
- ・(11/13中)柳井市議選激戦が、互立候補意向。新人は15人予定。告示まで3週間切。
- ・(11/14中)高級公務員車、私的使用か。山口県副議長、理事長務める施設などへ。識者「自覚足りない」。
- ・(11/14中)使用済み核燃料容器製造を報道に。中電、中間貯蔵計画で。
- ・(11/19中)韓国側の職員が長生炭鉱訪問へ。あす、通商交渉など協議。
- ・(11/22中)中間貯蔵施設巡る説明会「諸願者」。
- ・「時期尚早」ではなし。周防大島町議会でも意見発表。
- ・(11/22中)受け入れに反対。上関町に要望、兵庫のグループ。↓

## 山口県に反対求める

11/8 議連など3団体申し入れ

中国電力が山口県上関町に建設を検討している使用済み核燃料の中間貯蔵施設を巡り、同町と近隣市町の議員たちでつくる連盟など3団体は7日、施設を立地可能とした中電の調査は不十分だとして、建設に反対するよう県に申し入れた。

代表者たち14人が県庁を訪れ、光市の田辺孝市議長が県産業政策課の松本健太郎企画監に村岡嗣政知事宛ての申し入れ書を手渡した。申し入れ書は、中電が実施した調査は活断層や生物多様性の保全などで検討が不十分だと

議員連盟など3団体上関町に申し入れ (10/29)

## 中間貯蔵 反対申し入れ

11/30 上関町に議員連盟など3団体



坪金議長(右)に申し入れ書を手渡す小中幹事長

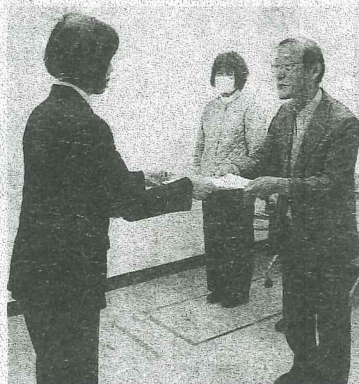
中国電力などが上関町に計画する使用済み核燃料の「中間貯蔵施設」を巡り、同町など2市4町の地方議員らでつくる議員連盟など3団体は29日、建設の反対を上関町に申し入れた。中電が予定地の地盤などを調査して「立地は可能」とする結論を示した報告書について、第三者を加えた上での内容の検証などを求めた。申し入れたのは、議員連盟、「上関原発を建てさせない祝島島民の会」と「原発いらん」山口ネットワークの3団体。メンバーら18人が町役場に申し入れ書を持参した。応対した坪金由美・町企画財政課長は「申し入れ書は町長に届ける」と答えた。

議員連盟の小中進幹事長は「上関町だけで決めている問題ではない。きれいな自然があるこの地に核の施設を持つてきてはいけない」と話していた。

3団体は、11月に同じ内容の申し入れを県に行っている。

「上関に原子力施設はいらない兵庫の会」が上関町に申し入れ (11/21)

## 受け入れ反対 上関町に要望 兵庫のグループ



上関町の職員に要望書を渡す末田さん

中国電力が山口県上関町で建設を検討している使用済み核燃料の中間貯蔵施設を巡り、兵庫県の住民グループが21日、中間貯蔵施設の

受け入れ反対を求める要望書を同町に提出した。

「上関に原子力施設はいらない兵庫の会」のメンバー3人が町役場を訪れ、西哲夫町長と同町議会の岩木和美議長宛ての要望書を担当の町職員に手渡した。

要望書では「使用済み核燃料の対策で困っているのは関西電力。自社の窮状を打開するのに自ら汗をかいて説明責任を果たさない関西電力は信用できない」として「関西と中電の無謀無責任な中間貯蔵計画に反対する」などと訴えている。

同グループは、脱原発はりまアクションなど兵庫県内の10団体で構成しており、今後は関西電力に脱原発などを訴えていく方針。メンバーの末田一秀さん(68)は「自分たちが使った関西の核のごみを上関に押しつけるのは許せない。山口の団体と連携し反対していく」と話していた。

(川井直哉)